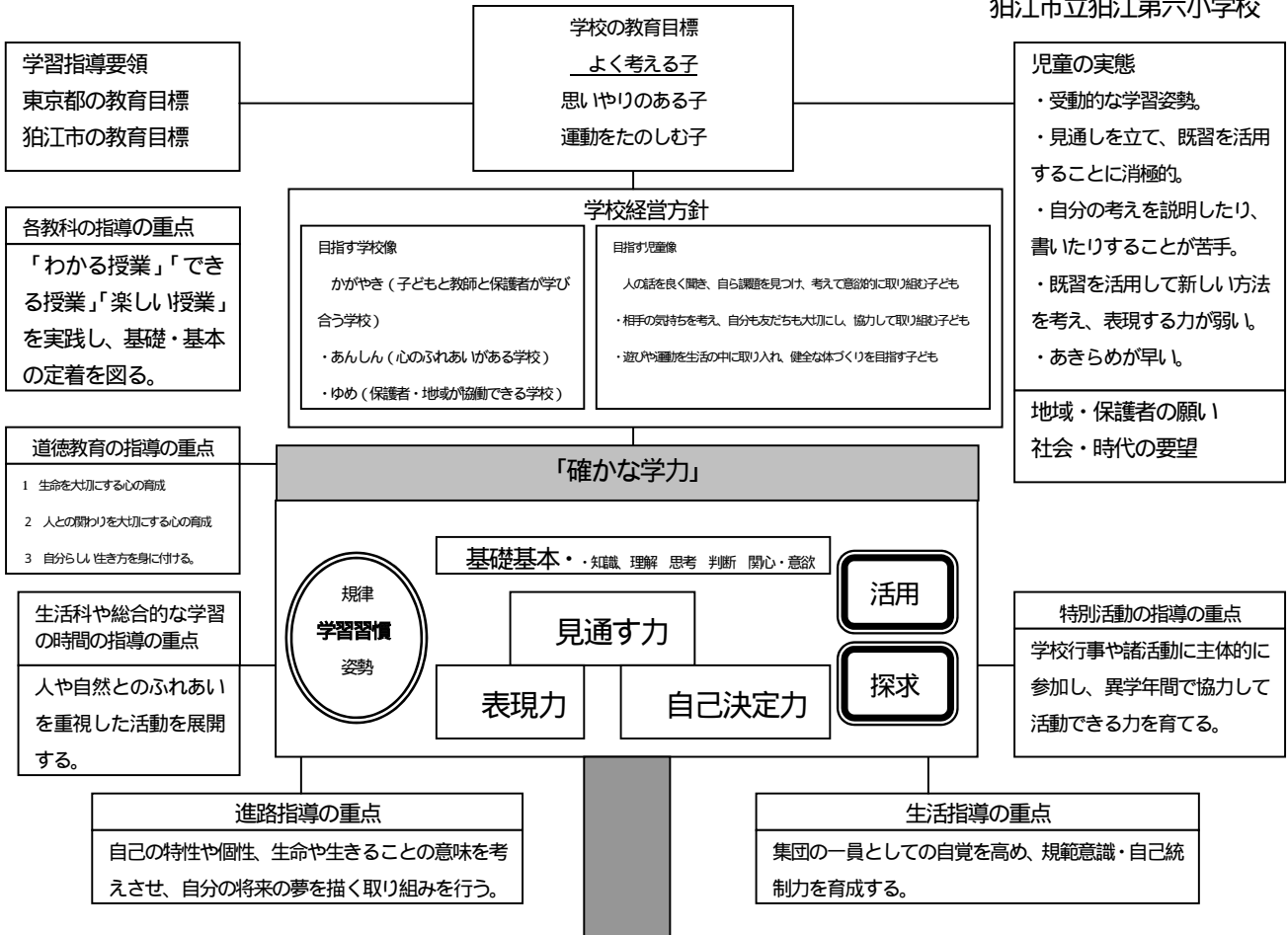


平成21年度児童・生徒の学力向上を図るための全体計画

狛江市立狛江第六小学校



学力向上に向けた教科等での具体的な取り組み

<p>【全教科共通】 基本的学習習慣を定着させる。 漢字力、読解力を付ける。 国語辞書を積極的に活用する。 ノート指導を徹底する。 目的やねらいに即して、自分の考えを書くことを習慣づける。 自己評価をさせる。</p>	<p>【国語】 【読むこと】 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて、文章を正しく読む。 文脈に即して、必要な細かいところに注意したりして読む。 【書くこと】 自分の考えが明確になるように、文の構成を考える。 段落相互の関係や構成を要約する。 【言語理解・知識・技能】 学年に応じた必要な語句を増やす。 読み手への伝達効果を考えて、ノートや用紙全体との関係を考えながら丁寧に書く。</p>	<p>【算数】 全学年共通 指導する単元と他の学年との関係を意識して指導する。 新しい単元も、既習を活用して考えさせる授業を展開する。 1年から3年までに各領域の基礎となる数学的な感覚の育成を重点的に行う。 学習形態を工夫し、個の習熟を伸ばす。 授業終了時には、自己評価させる。 【数量関係】 問題解決のために、筋道を立てて考え、説明できるようにする。</p>	<p>【言語活動】 全学年共通 「言葉の時間」を年間 35 時間確保し、言語感覚を高める。 各教科、領域で言語活動の場を設定する。 読書活動の充実を図る。(朝読書、保護者による読み聞かせ、読書週間) 日常的な言語活動の充実を図る。(スピーチ、作文、発表等) 言語環境の充実を図る。</p>
---	--	---	---

本校の学力向上に向けた具体的な視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫・学習環境の整備	校内における研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
個に応じた指導(算数少人数・TT)や体験活動(多摩川での総合的な学習)を取り入れ創意工夫ある授業を進める。 高学年を中心に教科担任制を取り入れる。	週3回の朝読書。 サマースクールの実施。(水泳、算数、国語・図書) 授業時数確保の工夫。 言語環境を整える。	研究主題「ことばで考え、ことばで表現する子供の育成」 国語科を通して 研究授業を通して協議し学び合い高め合う。 自己の課題に応じて研修への参加し、資質や能力の向上を図る。	学習の終わりに児童の自己評価を行う場を設定する。(評価表、ノート等) PDCAのサイクルを授業改善のシステムとする。 学期ごとに、行事ごとに評価をとる。	学校公開や行事等、積極的に学校を公開する。 家庭学習を義務づける。 地域の教育力を生かした教育活動を推進する。 保護者や地域の方の読み聞かせを充実させる。